

要望団体からの聴き取り結果とその確認

1 丹波ささやま農業協同組合

課題①

項目 平成28年10月29日にNHKで放映された「誇りの逸品ここにあり」という番組において、「丹波篠山」がテーマの中で、丹波市のすっぽん料理や丹波大納言小豆が紹介されていた。

確認 当日の同番組は「兵庫・丹波篠山」がテーマで、兵庫県の中東部、盆地に広がる町、丹波篠山として紹介されていました。その中では、丹波栗、山の芋、丹波篠山黒枝豆などの秋の味覚をリポーターのクリス・ハートと森尾由美が紹介していますが、そうした旬の味覚を購入できる店として、清明堂や小田垣商店に続き、すっぽん料理の店として丹波市山南町の播磨屋が放映されました。

丹波黒さや大納言小豆や丹波布の紹介では、「丹波篠山の北部に位置する春日」や「丹波篠山の北部に位置する青垣」という説明がなされ、番組のテーマである「兵庫・丹波篠山」は丹波市と篠山市両方を合わせて制作されているものと考えられます。

課題②

項目 JA丹波ささやまが取り扱っている黒大豆枝豆の袋に対し、県から原産地表示を「丹波篠山産」から「兵庫県篠山市産」に変更するよう指導があった。「丹波篠山産」では産地が特定できないとのことであったが、販売店のバイヤーは「丹波篠山産」のブランド力を評価していることもあり、原産地表示の変更がどの程度の影響があるのかは今後注視していかなくてはならない。

確認 農産物の生産地表示基準は、もともと農林物資の規格化等に関する法律（JAS法）に基づいて定められていましたが、平成27年4月の食品表示法の施行に伴い、JAS法の食品表示に関する規定が同法に移管されました。

生鮮食品品質表示基準（制定平成12年3月31日農林水産省告示第514号、最終改正平成20年1月31日農林水産省告示第126号）の第4条に示された「原産地」の表示基準は以下のとおりです。

(2) 原産地

次に定めるところにより事実即して記載すること。ただし、同じ種類の生鮮食品であって複数の原産地のものを混合した場合にあっては当該生鮮食品の製品に占める重量の割合の多いものから順に記載し、異なる種類の生鮮食品であって複数の原産地のものを詰め合わせた場合にあっては当該生鮮食品それぞれの名称に併記すること。

ア 農産物

国産品にあつては都道府県名を、輸入品にあつては原産国名を記載すること。ただし、国産品にあつては市町村名その他一般に知られている地名を、輸入品にあつては一般に知られている地名を原産地として記載することができる。この場合においては、都道府県名又は原産国名の記載を省略することができる。

さらに、「その他一般に知られている地名」については、消費者庁食品表示課が示している「生鮮食品品質表示基準Q&A」で次のように示されています。

(問15) 原産地について「一般に知られている地名」とは具体的にどのようなものですか。

(答)

"「一般に知られている地名」とは、具体的には

- ① 郡名 (例秩父郡)
- ② 島名 (例屋久島)
- ③ 一般に知られている旧国名 (例丹波、土佐等)
- ④ 一般に知られている旧国名の別称 (例信州、甲州等)
- ⑤ その他一般に知られている地名 (例房総 (地域名))

等が考えられます。"

丹波ささやま農協が[※]「丹波篠山産」の表示に対して改善を求められたのは、「丹波篠山」が[※]「一般に知られている地名」として認められなかったことによる可能性[※]がある。

2 篠山市商工会

課題①

項目 インターネット辞書の説明によれば、「霧芋」は丹波市の特産物と説明されている。

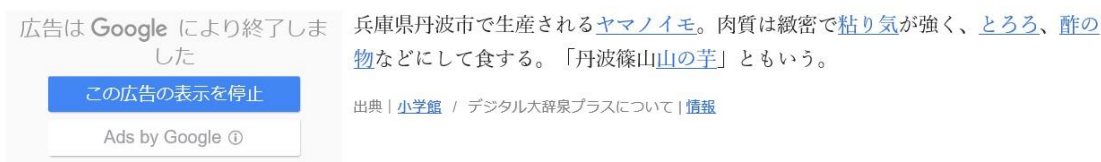
確認 インターネットサイトの「コトバンク」において、「デジタル大辞泉プラス」を出典元として、下記のとおり、説明がなされていることを確認した。

なお、書籍の辞書や電子辞書においても調べてみたが、霧芋の記載は確認できなかった。

霧芋

デジタル大辞泉プラスの解説

霧芋



広告は Google により終了しました
この広告の表示を停止
Ads by Google ①

兵庫県丹波市で生産されるヤマノイモ。肉質は緻密で粘り気が強く、とろろ、酢の物などにして食する。「丹波篠山山の芋」ともいう。

出典 | 小学館 / デジタル大辞泉プラスについて | 情報

課題②

項目 兵庫県の著名作家が市内をドライブ旅行する紀行文「玉岡かおるの丹波逍遥」は、丹波の四季折々の風景、丹波の名所旧跡、丹波は食材の宝庫、丹波三宝（丹波栗・丹波黒大豆・丹波大納言小豆）……等々記述全ての丹波が丹波市を指している。

確認 平成 29 年 3 月に丹波市によって発行された「丹波逍遥」において、丹波三宝の他、丹波布や丹波杜氏についても取り上げられていました。なお、丹波市内における丹波杜氏の歴史について、旧氷上郡時代の各町史を紐解き、調査しましたが、青垣町史にのみ「酒造出稼ぎ」（酒屋男）の記載がある他、市島町史に酒造に関する記載が数行あるのみで、他の町史には記載されていませんでした。

課題③

項目 GAP 調査について、篠山市が 2,016 年に実施した GAP 調査では、「篠山市を知らない」と回答した人が大阪 28.9%、兵庫 11.6%、京都 29.9%、東京 75.3%、愛知 76.2%、福岡 78.1%と報告書にある。選挙の出口調査など少ないサンプル数で大勢が判明するように「篠山を知らない人」の割合が実際大きいことを示しているのではないかと。

確認 調査結果について、確認したところ、指摘のとおりであった。（詳細については、別添資料参照）

3 丹波篠山観光協会

課題①

内容 兵庫県観光客動態調査によると、平成 16 年度の篠山市の観光客は 320 万人、丹波市は 194 万人と 1.6 倍である一方、平成 27 年度においては、篠山市が 235 万人、丹波市は 211 万人とその差は 1.1 倍になっている。当該調査については、調査方法が途中で変更されていることは、留意する必要があるが、丹波市の観光客入込数が増加傾向にある要因として、平成 16 年に丹波市が誕生したと無関係とは言い切れない。

確認

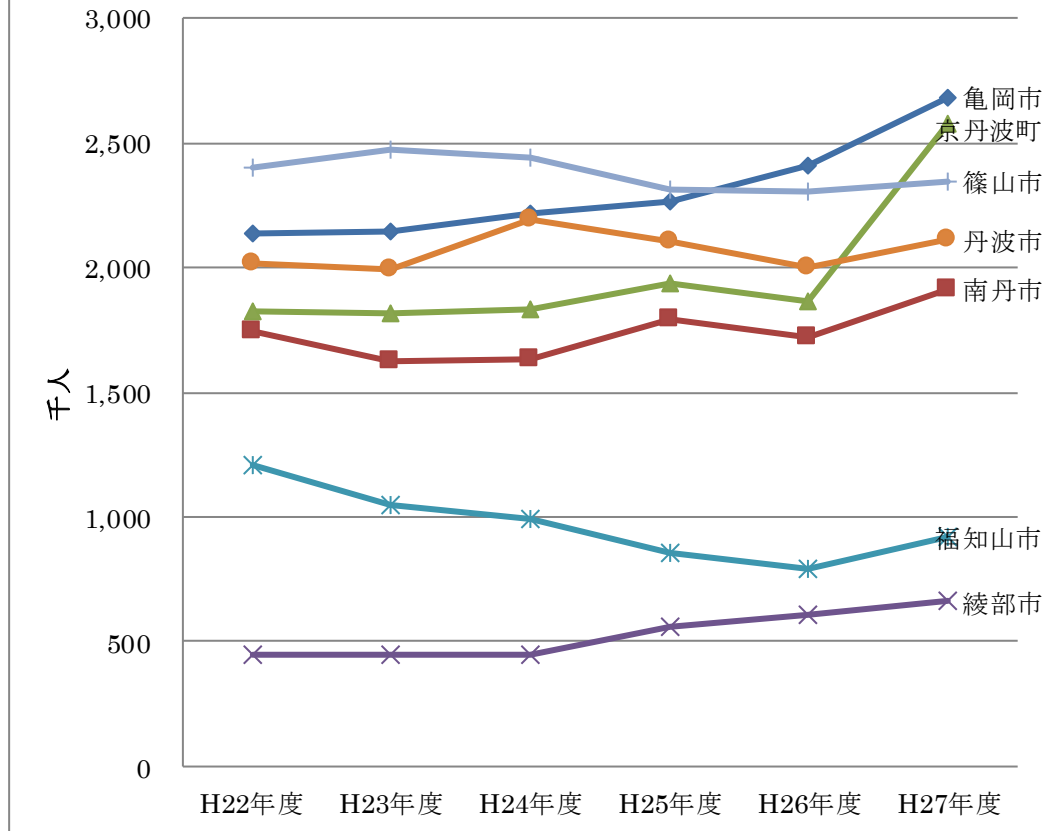
丹波市及び篠山市の観光客入込数の推移 (千人)

市名	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度
丹波市	2,147	2,280	2,392	2,260	2,783
篠山市	3,133	3,093	2,906	2,878	2,222

丹波地域 7 市町の観光入込数の推移 (千人)

市町名	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
亀岡市	2,136	2,147	2,221	2,269	2,408	2,679
南丹市	1,745	1,622	1,633	1,789	1,717	1,913
京丹波町	1,826	1,821	1,830	1,941	1,869	2,581
綾部市	444	445	444	555	609	660
福知山市	1,206	1,047	988	857	792	920
丹波市	2,014	1,994	2,196	2,102	1,998	2,110
篠山市	2,403	2,473	2,442	2,317	2,303	2,345

丹波地域 7 市町の観光入込数の推移



丹波市及び篠山市の観光客の入込数については、集計元となる施設やイベントは、別添のとおりである。

丹波市と篠山市における観光客入込数の比率は、意見のとおりであるが、丹波市において、観光客が増加している要因が「丹波市」に変更したことによるものであるかどうかは判断できなかった。

課題②

内容 地域ブランド調査結果に関し、「地域ブランド総合研究所」の2015年全国自治体認知度ランキングによると、1位は京都市、2位は新宿区、3位は札幌市となっており、篠山市は597位、丹波市は312位となっている。また、魅力度ランキングにおいては、篠山市は439位、丹波市は310位となっている。この背景には、「丹波」のブランド力が働いているのではないかと推察するところである。

確認 調査の結果について確認したところ、認知度については、篠山市が590位、丹波市が312位であり、魅力度については、篠山市が400位、丹波市が295位でした。（詳細については別添資料）

課題③

内容 観光雑誌「じゃらん」のリサーチセンターが2016年に行った調査によると、「篠山市」を知っていると答えた人は全国で25%であったが、阪急交通社が2017年に11,000人を対象に行った調査においては、「丹波篠山」を知っていると答えた人は80%にのぼった。このことは、「丹波篠山」の知名度を伺える結果となっている。

確認 じゃらんリサーチセンターの調査（GAP調査）では、篠山市へ行ったことがある人と「篠山市」を知っているが行ったことがない人を合わせると50.0%、篠山市を知らない人が50.0%でした。（別添調査結果参照）

また、阪急交通社の調査では、「丹波篠山」を知っている人は80.9%でした。（別添調査結果参照）

課題④

内容 丹波市内にあるイタリアンレストランのインスタグラムでは、投稿のタグ付けが「丹波篠山」でなされている等、作為的と思われるものがある。

確認 丹波市柏原町内に現存するイタリアンレストランのインスタグラム、フェイスブックが「兵庫県」「丹波市」の外に「丹波篠山」でもタグ付けされていることが確認できましたが、意図は不明です。

課題⑤

内容 インターネットグルメサイトの「Retty（レッティ）」において、「丹波篠山」のランチTOP20を検索すると、丹波市の店が7軒含まれている。また、「食べログ」のサイトにおいて「丹波篠山」を検索すると60軒の店が該当するが、その内39軒は三田市内、9軒が丹波市内、篠山市内が12軒となっている。

確認 Retty のサイトでは、「丹波篠山」では掲載されていなかったが、エリア指定を「篠山」で検索すると、人気グルメ20選中丹波市が7店、猪名川町が1店、西脇市が1店含まれていました。このエリア指定では「三田・篠山・西脇」の下に「篠山」のエリ

アがあり、Retty のエリア指定に「丹波」はありません。「篠山」エリアの対象の中に丹波市が含まれているものと推測でき、篠山市の知名度によるものとも言えます。行政区分を「篠山市」に限定すると丹波市の店は含まれませんでした。

また、「食ベログ」のサイトで「丹波篠山」を検索すると、60軒中で平成29年4月19日現在三田市内が36軒、丹波市内が14軒、篠山市内が9軒ありました。これは「丹波篠山」のエリアには「丹波市」「篠山市」「三田市」が含まれるため、「篠山市」で検索すると60軒中篠山市内が58軒、三田市内が1軒、猪名川町内が1軒という結果でした。これについては、「丹波篠山」の誤用と考えられます。

課題⑥

内容 篠山市内の小学生の中には、「丹波篠山」は「丹波市」と「篠山市」を指す言葉と誤解しているものもいると聞き、誤解の根深さに驚かされる。

確認 兵庫県教育委員会発行の小学5・6年用兵庫県道徳副読本「心ときめく」に掲載されている「丹波と篠山をつなぐ道」という丹波市出身の田艇吉の伝記において、「丹波篠山」について触れられている一節があります。それは、「丹波篠山と、今ではまるでひとところのように呼ばれることがある。とくに観光で訪れる人たちは、丹波と篠山がそれぞれ別の土地であることを、あまり知らない。」との文章で始まっています。「丹波篠山」の範囲が丹波市と篠山市であると誤解されているように見受けられます。